

1. 開催年月日 平成 28 年 9 月 16 日 (金) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 9 名 (欠席 0 名)
4. 事業者側出席者数 3 名
5. 議 題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

次の番組を聴取し、審議した。

8 月 25 日 (木) 18:00～18:20
「JUSTomika Life」
パーソナリティ：シキナユキコ
提供：富加町

- ・単調な印象で、BGMがずっと鳴っているのが気になる。
- ・地域包括支援センターは他の自治体にもあり、富加らしさや主張があまり明確でない。
- ・タイトルや内容からして、聴きたい情報を求めている人に応じて情報を提供する番組。町報番組としては誠実な番組づくりという印象。パーソナリティの相手にじっくり話させる聞き方も、話し手の自分の言葉で思いをきちんと伝える姿勢もよかった。
- ・内容に合った心地よいBGMの選曲だと思う。邪魔にならないし、リズムもテンポも良い。パーソナリティの声のトーンも一定で、的確な質問をしており好印象だった。
- ・パーソナリティの声はいい声ですね。優しく知性を感じさせる。相づちの回数もよくコントロールされている。
- ・声も聴きやすく、ゲストの方の滑舌をフォローするように大事な部分を繰り返しているのがとても良かった。重要なところをうまく引き出して、良い行政番組だと思った。ただし、地域外の方も番組で紹介していたサービスを利用していいのかははっきりみえず、地域外から来てほしいのであればもっとそこをPRしないと「私たちには関係ないわ」とスルーして聴いてしまうような気がした。
- ・広報紙で見ると 1 分くらいあればわかってしまう情報を、20 分かけて伝えていた。インタビューは 1 本にして、残り 10 分は、各世代に合ったような町のイベントをいくつか紹介すると充実感があるのではないか。
- ・シキナさんがとっても上手できちっとしている。重要なところは確認をして、タイミングの良い相槌をうっている。話の聞き出し方が全体として品がある。いい感じで聴いていられる。「ポイントがたまってこんなことがあった」「トレーニングしてこんな変化があった」といった本人の声、現場の声があると、もっと印象に残るのでは。
- ・役場には「近隣の町でこういうことをやっているらしいが、我が町ではやっていないのか」という意見が寄せられることがあり、町外へのPRについては、他自治体と同様の話題であっても補完し合えらと思われる。
- ・BGMはいい音楽だったが、男女とも声が静かな方だったので少しボリュームを下げててもよ

かったのでは。どんなトレーニング器具なのか具体的にわかった方が参加者は増えるだろうし、なぜ介護保険料が下がったのか一般の人はわからないので深めて紹介してもらえると良かった。

- 近隣地域の人でも富加町に親戚や友人がいるなど、富加町を知りたいと興味関心があるリスナーはいる。別枠で「ラジオ体操はどうだったか」など、取材の番組を設けるとよいのでは。

2. 放送番組全般について

- 「ららサポラジオマガジン」を聴いている。先日は新しくできた居酒屋さんの紹介をしていて、非常に興味をもった。途中から聴きはじめていたので、お店の名前は確認できても場所がなかなか紹介されず知ることができなかった。番組の最後や中間にも、場所がわかる情報を入れてほしい。
- 「ららサポラジオマガジン」で、佐賀石材さんによる御嵩町のマリア像寄贈のいきさつのおもしろく、これだけでもひとつの番組にできるのではと思うくらい良い話だった。

以上の意見が出され、全員承知した。